



会長 楠 英夫 幹事 楢戸 憲一

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2023~2024年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

2024年5月21日 40号
2024年5月14日 第2例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|------------------------------|-------------|-------------------------------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 楠英夫会長 | 8. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 2. 国歌及びロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | 9. 点 鐘 | 楠英夫会長 |
| 3. 幹事報告 | 楢戸憲一幹事 | 10. ロータリーソング斉唱
(それこそロータリー) | |
| 4. 5月結婚記念日の紹介 | 親睦活動委員会 | | |
| 5. 委員会報告 | | | (司会進行：山口裕由 S A A) |
| 6. ニコニコ BOX の発表 | 溝口哲矢副 S A A | | |
| 7. 会員卓話 | | | |
- 海老原一郎ロータリー情報委員長

本日のプログラム
前川和樹会員の新月卓話でございます。

次週のプログラム
5月28日(火)の例会は、土浦商工会議所 青年部 小椋直樹会長、飯田総一郎専務理事をお迎え致します。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
87	50	7	58.82	2・3・4・6	7・9・10・11 15・16・17・18	17	78.82

【委員会報告】

ロータリー情報委員会

海老原 一郎 委員長

本日開催する、ロータリー情報委員会セミナーのご案内です。

第一部は13時40分よりロビー3階オーシャンでセミナーを行います。第二部は18時より同室にて懇親会を行います。ご出席の方は宜しくお願い致します。

ゴルフ同好会

和 泉 好 一 ゴルフ同好会幹事

5月29日(水) 東筑波カントリークラブにて同好会コンペを開催いたします。参加申し込みが本日締めとなっております。1組分の空きがありますので是非ともご参加ください。パーティーをゴルフ場で行いますので女性も参加しやすくなっております。連絡は幹事までお願い致します。

【会員卓話】

海老原 一郎 ロータリー情報委員長



今回、ロータリー情報委員長としての卓話をする事になりましたが、何を話すか困りました。

と言いますのは、私は、過去の記念事業の話をすればよいのかなと思っていたところ、先日、当委員会の副委員長の海田恭弘さんが、卓話の中で、南ロータリークラブ創立後59年間の記念事業のすべてを説明されました。海田さんの件は、私も了解しておりましたが、記念事業の話は二番煎じになるので、何の話しをすれば良いか、考えていたところ、情報研究会という会が発行した「既存会員のための研修資料、ロータリアン必携これだけは知っておきたいロータリーの基礎」という本を見つけました。情報研究会は、奈良県に事務所を構え、ロータリークラブ会員の有志により構成されており、ロータリーの過去の重要な資料をはじめ最新の資料、情報を整理し、日本のロータリアンに役立つ情報誌の編集・発行を目的としております。発行している情報誌の編纂責任は、すべて情報研究会が負っているそうです。

今回の卓話は、この本を基に、私がロータリークラブについて、学んだことを発表させていただきますのでお付き合いいただきたいと思います。

私は、会長も務めさせていただきましたので、ロータリーについて、いろいろ学ばせていただきましたが、今回この本を読んでロータリーとは何ですかとの、質問に答えることが少しは出来るようになったと思っております。そのようなことから、会員全員に、この本を、提供しようと思ったのですが、現在在庫が無いので、今回は、主な内容をパワーポイントで説明させていただきます。

それでは、「ロータリーの基礎」に掲載されている主な点を順に話させていただきます。まず、ロータリー活動の原点の一つである奉仕の理念についてです。ロータリーの公式文書では、The ideal of Service ですが、日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏は、「サービスの理想」と訳しましたが、その後第2次世界大戦で英語が使えなくなり「奉仕の理想」となり、2013年ロータリーの綱領の全面的改訳に伴い「奉仕の理念」となったそうです。

2点目、クラブ活動の土台となるロータリーの奉仕部門の確立の歴史についてです。

ロータリーは、「一業種一会員を基本とする親睦団体」とスタートし、その後、職業奉仕の

2点目、クラブ活動の土台となるロータリーの奉仕部門の確立の歴史についてです。

ロータリーは、「一業種一会員を基本とする親睦団体」とスタートし、その後、職業奉仕の

理念が確定するとともに奉仕活動の実践について研究され、2010年に、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の5大奉仕部門となりました。

3点目は、ロータリー戦略計画についてです。

ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリーの戦略計画だそうです。R Iの戦略計画の経過が説明されていますが、私には、良く理解できませんでしたので、説明は省きます。

4点目、ロータリーの新しい方針についてです。

最近のロータリアンの行動規範では、ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することとなっています。「ハラスメント」とは、個人またはグループを、年齢、民族、人種、肌の色、宗教、社会・経済的地位、性別によって、中傷、侮辱する言動を指すと定義されていまして、会合や行事などで、ハラスメントのない環境を作ることは、全会員の協力が必要とされています。

また、男女平等だけでなく年齢、民族、人種、肌の色、宗教、社会・経済的地位などにかかわらず、会員を大切にするクラブの活動も推奨されています。

5点目は、奉仕プロジェクトについてです。

5大奉仕部門は、ロータリークラブの活動の哲学的及び実地的な基準とされていますが、その実施に当たっては、最初の現状の評価から始まり、2段目はプロジェクトの選定、3段目は計画の立案、4段目は、プロジェクトの実行、最後の5段目は、プロジェクトの評価と広報というプロセスを進めることとされています。

6点目は、クラブ管理についてです。

クラブの運営は、ロータリークラブの目的に沿って運営することとなっていますが、クラブの目的は南ロータリーだけではありませんが、標準ロータリークラブ定款を採用することを義務付けられています。職業分類についてですが、ロータリー創設時は1業種1人でしたが、2019年にその制度は廃止となりました。1業種に複数の会員が居ても問題なくなりましたが、多様な会員の発掘や地域社会に合った会員勧誘に必要な「職業分類」は残っています。また、メイクアップ期間は、例会の前後2週間という縛りがありましたが、年度内であればいつでもOKとなりました。

以上で、この本「ロータリーの基礎」で学んだ私の勉強の報告といたします。

なお、この本は事務局に若干ありますので、ロータリーについて改めて、勉強されたい方は、事務局に連絡してください。

先日、海田副委員長が南ロータリークラブ創立後59年間の記念事業のすべてを説明されましたが、来年度の地区補助金を活用した当クラブの記念事業が決まりました。それは、今年の1月にリニューアルオープンした土浦市立博物館から設置の強い要望があった、ロッカーを寄贈することに決まりました。そこで、土浦市立博物館のPRをさせていただきます。皆様には、配布した博物館のパンフレットをご用意していただきたいと思います。パンフレットに掲載されているものでは、私はまず、お茶道具をお勧めいたします。写真の茶入れ「塩屋」は、土浦藩土屋家が所有していた物ですが、土浦市が一千万以上で購入したものです。次は、やはり土浦藩土屋家が所有していた刀剣です。土浦市が全部で85口を3億円以上で購入したのですが、何ととっても、国宝が1振りあります。茨城県内にある国宝は、鹿島神宮の刀とこの刀筑州住行弘（ちくしゅうのじゅうゆきひろ）だけです。国宝と重要文化財は、毎年、土浦全国花火競技大会の前後のみ博物館で展示しております。今年は、是非博物館へ見学に行くことをお勧めして、私の卓話といたします。

ご清聴ありがとうございました。

ロータリー情報セミナー 次第

司会：海老原一郎委員長

1. 会長挨拶 楠英夫会長
2. 「ロータリーの樹」について 海田恭敬副委員長
3. 「今日からロータリアン」 海老原一郎委員長
 - ・親睦委員会について p.21
 - ・クラブの奉仕活動について p.22
 - ・ニコニコボックスについて p.23
 - ・例会出席とメイクアップについて p.24, p.25
 - ・ロータリー財団について p.31～p.35
 - ・ロータリー米山記念奨学会について p.36, p.37
4. 規定審議会について 片岡信彦パストガバナー
5. 質疑応答

2022年規定委員会について

片岡信彦 PG

規定審議会は国際ロータリーの立法機関で、国際ロータリーの組織規定を改正する権限を持ち、3年に一度4月に招集されます。以前は世界各地で開催されましたが、最近では国際ロータリーの本部があるエバンストンに近いシカゴ市内で開催されています。決議権を持つロータリアンを代表議員といますが、世界524地区から1名ずつ選ばれます。茨城県は2820地区といい世界524地区の一つとなります。代表委員は原則パストガバナーから選ばれます。

規定審議会の立法案は制定案と決議案の2種類があります。国際ロータリーの定款細則、または標準ロータリークラブ定款を改正する立法案が制定案です。

このような規定審議会が2022年4月に開催されました。

今回審議された制定案の数は94件で採決されたのは29件で採択率は30%でした。

■ 地区運営の試験的プロジェクトの件

今回の規定審議会では注目を集めたのはR I 理事会が提出したロータリーの未来形成に関する制定案。もともとこの制定案はR I 定款などの組織規定に拘束されないクラブ管理のあり方を試験的プロジェクトとして実施するとの事。提案に至るまでのプロセスが不明確、実施しても会員が増加する保証はないと言った反対意見があったが採択。

■ 人頭分担金を増額する件

人頭分担金を増額する件は当初年間2ドルで提案されていたが、直前になって現在の70ドルが4年後82ドルに増額修正される事で採択。

■ ローターアクトクラブに関して

ローターアクターがR I 委員会の委員となれる事を明文化、ローターアクターがロータリーの例会に出席する事を許可する件が採択。

- 日本の地区・クラブの関心項目

R I 事務総長の任期，報酬といったR I の簡易体制を決めようと言う事で提案されたが否決。メイキャップが同一年度内という事になり日本から様々な制定案が出されたが出席報告の提出義務を撤廃するという制定案が採決。
- 日本の地区・クラブ提案で採択された制定案

地区による立法案および決議案の提出方法を改正する件，地区の境界の変更基準を変更する件等，有益な提案がされた。
- R I 理事会提案で採択された制定案

R I 理事会提案は13件の内11件が採択された。議論を呼んだのは，ロータリーの理事会にロータリアンの元役員を身分を剥奪する事を許可する件。最初の審議の過程でこれを理事会付託するという修正動議があり賛成多数で理事会付託。
- その他採択された制定案から

バランスのとれた会員基盤の構築要素として現在は多様性を尊重する事が規定されているが，その次に公平さ，インクルージョンを加えるもので，R I が重要なテーマとして掲げているロータリーの DEI（多様性，公平さ，インクルージョン）がR I 細則に盛り込まれ，また，五大奉仕部門の社会奉仕の文言に「積極的平和」という文字を挿入する。
- その他の注目すべき制定案の結果

最後にロータリアンの3大義務とされている雑誌購読について制定案が2つ提案され審議された。一つは電子版を基本とし，希望者には印刷版も配布，もう一つは雑誌購読を任意とするという案はいずれも否決。

以上簡単に規定審議会の内容についてでした。最後に，当時佐藤千壽パストガバナーが綱領といわれた難解な文章を「今のロータリーの目的」について，10年前にロータリーの友に寄稿した文章を下記に紹介します。

小学生に話すロータリーの目的

佐藤千壽 訳

どんな職業でも，“利益は奉仕に対するご褒美として与えられるものでなければならない。”というのが，ロータリーでいう「奉仕の理想」である。だから，そういう理想を，さらに一層高めて，これを世界中に広げていくのが，私たち会員の目的であり，そのためには，特に次に述べる4つの事が大切である。

- (1) こういう奉仕の理想に賛成してくれる仲間をたくさん増やすこと。
- (2) だれから見ても道徳的に怪しまれることがないように，誠実に良心的な仕事をする事。職業上の取引は対等であって仕事に上下の差はない—いつもお互いに相手の立場を尊重し感謝すること。社会に奉仕するための職業なのだから，自分の職業は品位あるものでなければならない。
- (3) 私たち会員は個人的な日常生活でも，職場でも，又広く社会的な関係でも，常にみんなのためになるかどうか，を考え，奉仕の精神で行動しなければならない。
- (4) こういう奉仕の理想を身につけて，それぞれの仕事に精出している世界中の人々と友達になり，相手の国のこともよく理解し合って戦争のない平和な世界を作ること。